

2023年度(令和5年度)後期開講科目のご紹介

前期 学部
開放授業の
様子



▲前期 学部開放授業 地域経営資源論



▲前期 学部開放授業 南紀熊野の自然

学部開放科目のご紹介

「地域観光戦略論A」

講師 藤田 和史 准教授(経済学部) 他

この授業では、個人の観光行動が広く発信され、それが多数に共有され、新たな観光を誘発する新たな観光の側面を学びつつ、その知見をどのように生かすのかという点に重きを置いて、観光戦略の計画・立案・発信まで含めた授業を展開する。

開催
日時

10月7日、10月21日、11月4日、
12月16日、12月23日、1月6日
いずれも 13:00～17:00

「きのくに文学」名作案内」

講師 天野 雅郎 (非常勤講師)

文学の原義を振り返り、現在の和歌山の前身である「きのくに」を舞台とする作品群や、作家たちを取り上げ、この和歌山が大きな、豊かな文学圏を歴史上築き上げ、保ち続けているのかを学ぶ。

開催
日時

10月14日、10月28日、11月11日、
12月2日、12月9日、1月20日
いずれも 13:00～17:00

「郷土の食文化から考える食の危機」

講師 岸上 光克 教授(食農総合研究教育センター)

本講義では、日本の食文化、とくに郷土の食をめぐる危機について和歌山県から明らかにし、豊かで多様な食文化が地域を、私たちの暮らしをつくっていることの幸福や重要性、これからの食の姿を考える。

開催
日時

10月7日、10月14日、10月21日、
11月4日、1月27日、2月10日
いずれも 13:00～17:00

「地域づくりの理論と実践D」

講師 大浦 由美 教授(観光学部) 他

本講座は、農業・農村の現状に対する「当事者意識」に裏付けられた深い共感と問題関心を有し、且つ新たな地域づくりの担い手として注目される「関係人口」を創出する上でのコーディネーターとしての役割を果たしうるホスピタリティ豊かな地域づくり人材の育成を目的として開講する。

開催
日時

10月7日、10月8日、11月11日、
11月12日、1月27日、1月28日
通年開講授業のため、後期募集はありません。

大学院開講科目のご紹介

「協同組合論」

講師 岸上 光克 教授(食農総合研究教育センター)

地域間格差や生活格差が拡大している状況のもと、利益追求型の企業経営ではなく、協同組合という形態が注目されつつある。本講義では、「協同組合とは」、「協同組合の課題」などを具体的な事例から学び、農協に注目し、協同組合について、考える力を身に付ける。

開催
日時

12月16日、12月23日、1月20日
いずれも 13:00～17:00

「農工商連携・六次産業化」

講師 藤田 和史 准教授(経済学部)

この授業では、農業生産者と他産業とが結び着くことで高付加価値化を目指す六次産業化などの事例を分析することを通じ、地域農林水産業の存続のありようについて検討する。また、古典論を解説し、地域に適した農林水産業や関連産業のあり方についても検討する。

開催
日時

10月14日、10月28日、11月25日
いずれも 13:00～17:00

サテライト 代表メッセージ



小川 雅則 特任教授
紀伊半島価値共創基幹

和歌山大学南紀熊野サテライトは、南紀エリアの地域や社会の課題に向き合う学部開放科目と、より専門性の高い大学院授業科目を開講しています。学生を含めて様々な世代の方と交流し、語り、知識を深めてみませんか？皆さまの受講をお待ちしております。

受講生の声

職場とは異なる出会いがあり、
いろんな人と交流できました。
(50代男性)



紀伊半島の自然や歴史・
文化を知りたくて。
(60代女性)



生徒の皆さんも楽しい方が
多くて楽しかった。
(30代女性)

